マグネット式ニューマリン水中ポンプ　MWPシリーズ

この度はニューマリンズ水中ポンプをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
ご使用の前に取扱説明書（安全上のご注意）をよくお読みの上、正しくお使いください。
また後日の保守・点検等のために、大切に保管しておいてください。

●必ずお守りください

この製品および取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使い頂く為の重要な内容が説明してあります。

⚠ 警告	無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災などの重大事故の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、物的損害の可能性が想定される内容を示しています。

物的損害とは、家屋、家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示す

図記号の例

❗ この記号は、必ずすること（強制行為）を示しています	⃠ この記号は、していけない行為（禁止行為）を示しています

設置上のご注意

⚠ 警告

❗ 濡れた手で電源プラグに触れない事。感電の原因になります。

❗ 修理技術者以外の人は分解したり修理や改造をしない事。異常作動をして怪我をしたり、感電・火災の原因になります。

❗ 人が入っている水中でポンプを運転しない事。感電の原因になります。

❗ 掃除や点検をする時は、電源プラグを抜く事。感電したり、怪我の原因になります。

❗ 使用する場合は、必ず吸込口が水位より下になるようポンプを設置してください。
水位より上に吸込口がでますと空運転し大変危険です。

ご注意

⚠ 警告

❗ 電源ケーブルを傷つけない事。加工したり、引っ張ったり、束ねたり、重い物を載せたり、はさみ込んだりすると
電源ケーブルが破損し、感電・火災の原因になります。

❗ 電源プラグを抜く時は、電源ケーブルを持って抜かない事。必ずプラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき感電・火災の原因になります。

❗ 40℃以上のお湯、汚水、ガソリン、灯油、油、化学薬品には使用禁止。ポンプの故障の原因になります。

❗ このポンプをご使用の際、フィルターを必ず取り付けてください。
ゴミがつまりポンプの故障の原因になります。

⚠ 警告

煙や焦げくさい臭いがしたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電が生ずる恐れがあります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

モーター部分の樹脂カバーが変形・変色した場合は、すぐに運転を中止してください。
そのまま運転を続けると火災・感電・故障の原因となります。絶対にそのまま運転しないで下さい。

延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。火災が生じる恐れがあります。

燃えやすい物のそばに設置しないで下さい。火災の原因となります。

使わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。長時間コンセントに挿し込んだままにすると、
埃などがプラグに付着し火災の原因になる恐れがあります。

指定の電源（100v・200v）以外を使用しないで下さい。本ポンプを交流（100v・200v 50/60Hz）以外で使用すると、
故障や火災が生ずる恐れがあります。

ポンプは樹脂で出来ていますので、叩いたり落としたり、火気に近づけない事。感電や火災の原因になります。

⚠ 注意

ポンプの空運転は絶対にしないでください。空運転状態になりますと摩擦により熱が発生してポンプ内部が破損します。
ポンプ停止が頻繁に起きる場合は販売店にご相談ください。

不安定な場所や振動のする場所に設置しないで下さい。ポンプは安定した水平な振動のない場所に設置してください。

運転中・運転後はモーター部分が高温になっておりますので触れないで下さい。
特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本体の外観の汚れを落とす際は、やわらかな布で乾拭きしてください。汚れが落ちにくい場合は中性洗剤を少量
染み込ませた布でふき取るようにしてください。ベンジン・シンナー、灯油、磨き粉などは絶対に使用しないでください。

漏電ブレーカーを取り付けてください。ポンプに漏電ブレーカーを取り付けないで使用すると、感電する恐れがあれます。

運転の仕方

水槽循環用の水中ポンプとして使用する場合（使用例１）

※裏面の使用例をご参照ください。

1．吐出口用パッキンにＶＰ２５の塩ビパイプを取付け、付属のユニオンで締め付け配管します。濾過槽の沈殿槽に設置してください。吸込口にはフィルターを必ず取り付け、異物が吸込まれるのを防止してください。

2．ポンプを安定した場所に垂直に設置してください。濾過槽から水槽部へ水を汲み上げ、オーバーフローさせた水が濾過槽に戻るよう配管を行ってください。

3．吸込口より上に水位がある事を必ず確認してください。水位が低い場合、空運転がおこり故障の原因になります。

4．必ず漏電ブレーカーとアースを取り付けて使用してください。

水中に設置し使用する場合（使用例２）

※裏面の使用例をご参照ください。

1．吐出口用パッキンにＶＰ２５の塩ビパイプを取付け、付属のユニオンで締め付け配管します。
給水側はフィルターを必ず取り付けてください。

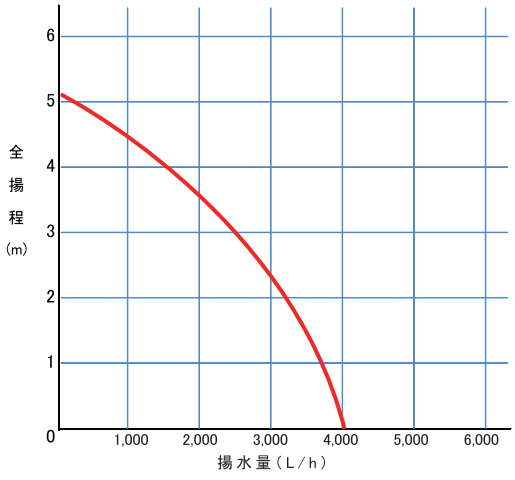
2．ポンプを安定した場所に垂直に設置してください。水底が泥や砂などで安定しない場合は、ポンプが沈下したり倒れないようにブロック等を敷いて、その上にポンプを設置してください。

3．吐出口の先端が水中に入らないよう配管してください。先端が水中に入っている場合、ポンプ停止時にサイフォン作用で吐出口からポンプ側へ水が逆流します。水面より先端が低い場合も同様の現象が発生します。

4．吸込口より上に水位がある事を必ず確認してください。水位が低い場合、空運転がおこり故障の原因になります。

5．必ず漏電ブレーカーとアースを取り付けて使用してください。

［ 性能曲線図 ］



［ 寸法図 ］



※寸法はmm表記です。

［ 仕　様 ］

型式	配管口径	消費電力	最大揚程	最大水量 / 流　量	電源電圧	周波数	コード長	重　量
MWP70−100	吐出 VP25	90w	5M	70L/min / 4000L/h	AC100v	50/60hz両用	4.5M	2.5kg
MWP70−200					AC200v			

配管例と付属部品

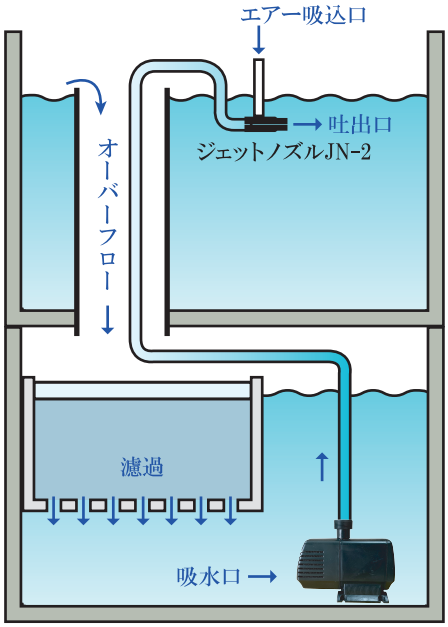
ホースを使用する場合（使用例３）※使用例をご参照ください。

1．吐出口用パッキンにＶＰ２５の塩ビパイプを取付け、付属のユニオンで締め付けます。ＶＰ２５のパイプに合うホースをパイプに接着し、ホースバンドで固定します。濾過槽の沈殿槽に設置してください。
吸込口にはフィルターを必ず取り付け、異物が吸込まれるのを防止してください。

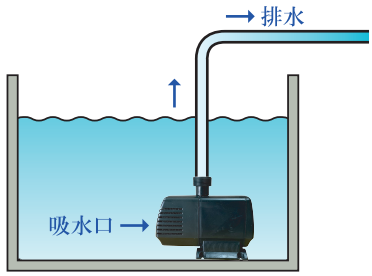
2．ポンプを安定した場所に垂直に設置してください。

3．吸込口より上に水位がある事を必ず確認してください。水位が低い場合、空運転がおこり故障の原因になります。

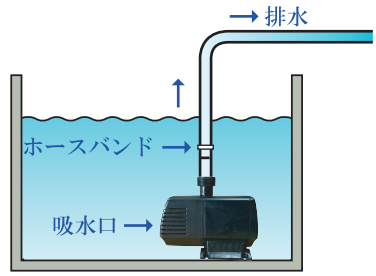
4．必ず漏電ブレーカーとアースを取り付けて使用してください。



使用例１　水槽循環用（水中設置）



使用例２　塩ビ配管での排水・水替・散水



使用例３　ホースでの接続

